



平成 16 年 10 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社システムソフト
代表者名 代表取締役執行役員社長 福 井 武 義
(登録銘柄 コード番号 7 5 2 7)
問合せ先 執行役員管理部長 緒 方 友 一
T E L 0 9 2 - 7 1 4 - 6 2 3 6

固定資産減損会計の早期適用に伴う特別損失の発生及び
平成 17 年 3 月期中間期業績予想の修正について

当社は、本日開催の取締役会において「固定資産の減損に係る会計基準」を平成 17 年 3 月期中間期から早期適用することを決議いたしました。これと併せ、最近の業績の動向を踏まえ、平成 16 年 4 月 27 日に公表した平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の中間期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1．減損会計の対象となる資産について

当社は、財務体質の一層の強化と財務諸表の透明性を高めるため、平成 17 年 3 月期中間期から「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することといたしました。

これにより当社が保有する投資土地につきまして減損処理を行い、1 億 34 百万円の特別損失を計上する予定であります。

2．平成 17 年 3 月期中間期業績予想の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	580	110	112
今回修正予想(B)	525	103	306
増減額(B - A)	55	7	194
増減率(%)	9.5	-	-
(ご参考) 前中間期実績	622	111	126

３．修正の理由

当中間期におきましては、当社が重点的に取り組んでおります防災関連システムの売上は、計画を大幅に上回ることができましたが、生損保等の顧客への売上が統合や合併の影響を受け、計画を下回りました。また、前期よりスタートした「地図データ入力技術者養成講座」事業の売上が計画を大幅に下回り、売上高全体では５億 25 百万円と予想から 55 百万円の減少となる見込みであります。

経常損失は、売上の落ち込みをシステム開発効率の向上によりカバーした結果、103 百万円と予想から 7 百万円減少する見込みであります。

中間純損失は、「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用による減損損失 1 億 34 百万円に加え、売掛金の貸倒引当金繰入額 64 百万円など、2 億円の特別損失を計上したことにより、306 百万円と予想から 194 百万円の増加となる見込みであります。

なお、当社は、売上・利益の計上が下期に集中する傾向があるため、中間期では計画当初より、営業利益、経常利益、中間純利益は損失計上を見込んでおります。

なお、中間期の見通しは現段階で入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて算定しております。予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況の変化等により、実際の売上高及び利益は上記に記載した予想数値と異なる場合があります事をご了承ください。

以 上